

◆調査の概要について◆

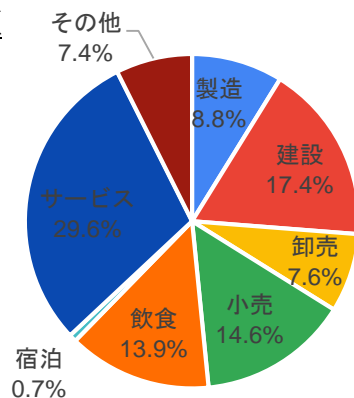
調査時期：令和4年7月28日（木）～8月3日（水）

対象者：熊本商工会議所会員でメール登録のある事業所 2,708社

回答者数：419社（回答率 15.5%）

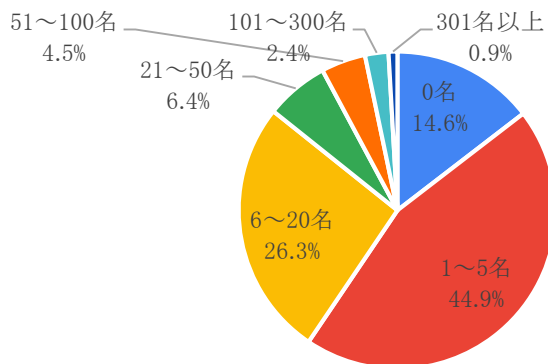
●回答事業者様の情報について

（1）業種



業種	回答数	割合
製造	37	8.8%
建設	73	17.4%
卸売	32	7.6%
小売	61	14.6%
飲食	58	13.9%
宿泊	3	0.7%
サービス	124	29.6%
その他	31	7.4%
合計	419	100.0%

（2）従業員数（常用）

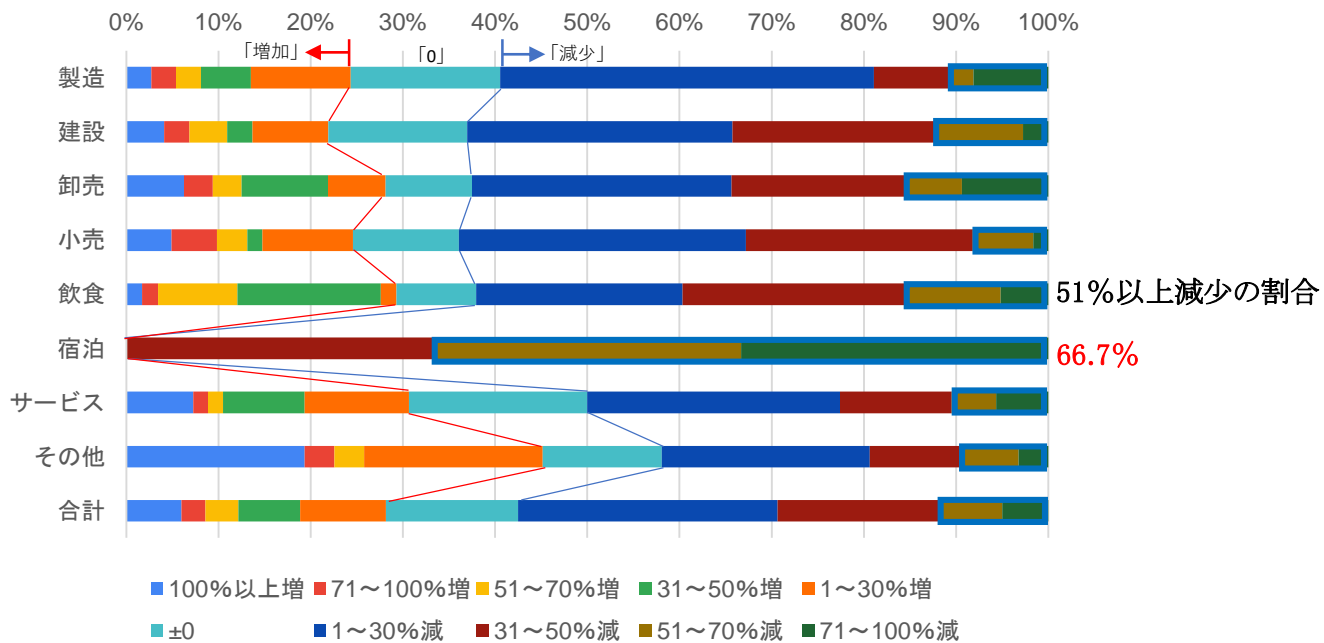
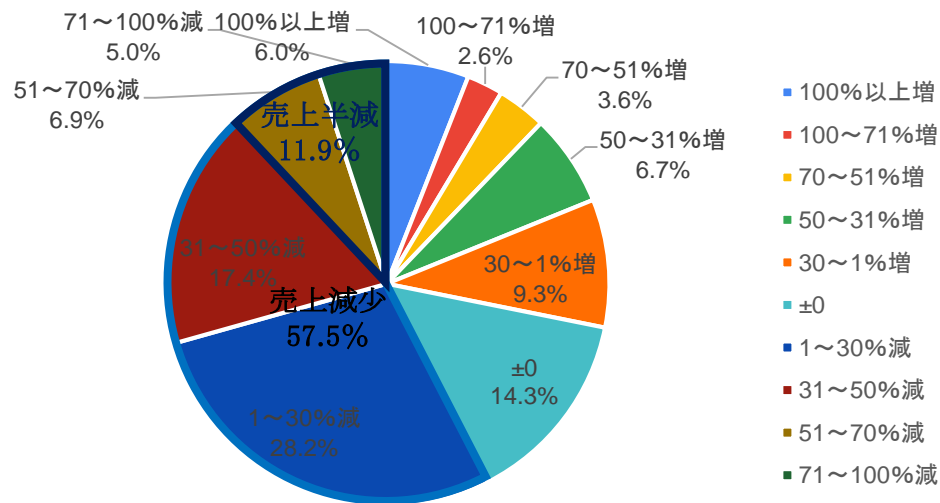


従業員数	回答数	割合
0名	61	14.6%
1～5名	188	44.9%
6～20名	110	26.3%
21～50名	27	6.4%
51～100名	19	4.5%
101～300名	10	2.4%
301名以上	4	0.9%
合計	419	100.0%

1-1. 2022年6月(先月)の売上は、コロナ禍前の2019年6月と比べてどの程度でしたか？

コロナ禍前の2019年6月比では、売上が「減少している」割合が57.5%、「51%以上減少している」割合が11.9%となった。

また、売上が「51%以上減少している」割合を業種別に見ると、宿泊業が66.7%となっており、他の業種に比べ、深刻な影響を受けている割合が依然として高くなっている。

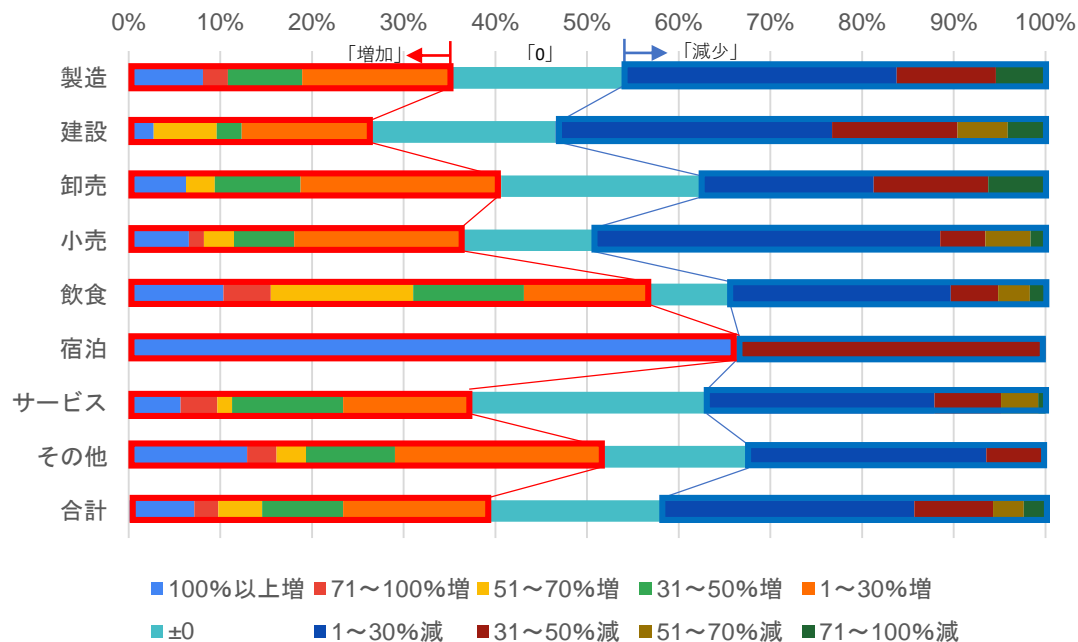
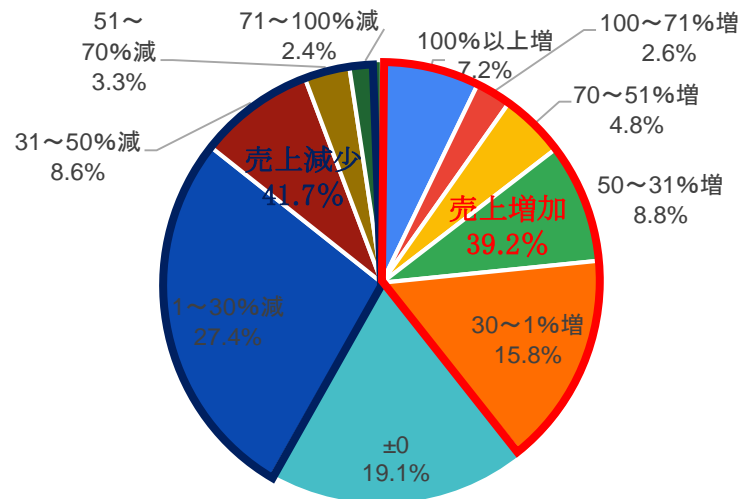


	回答数	割合
100%以上増	25	6.0%
100~71%増	11	2.6%
70~51%増	15	3.6%
50~31%増	28	6.7%
30~1%増	39	9.3%
±0	60	14.3%
1~30%増	118	28.2%
31~50%増	73	17.4%
51~70%増	29	6.9%
71~100%増	21	5.0%
合計	419	100.0%

1-2. 2022年6月(先月)の売上は、昨年の2021年6月と比べてどの程度でしたか？

昨年の2021年6月比では、「減少している」割合が41.7%、「増加している」割合が39.2%となっており、ほぼ同数となった。

売上が「増加している」割合を業種別に見ると、飲食業、宿泊業、卸売業は上回り、一方で、建設業、小売業では「減少している」割合が上回る結果となった。

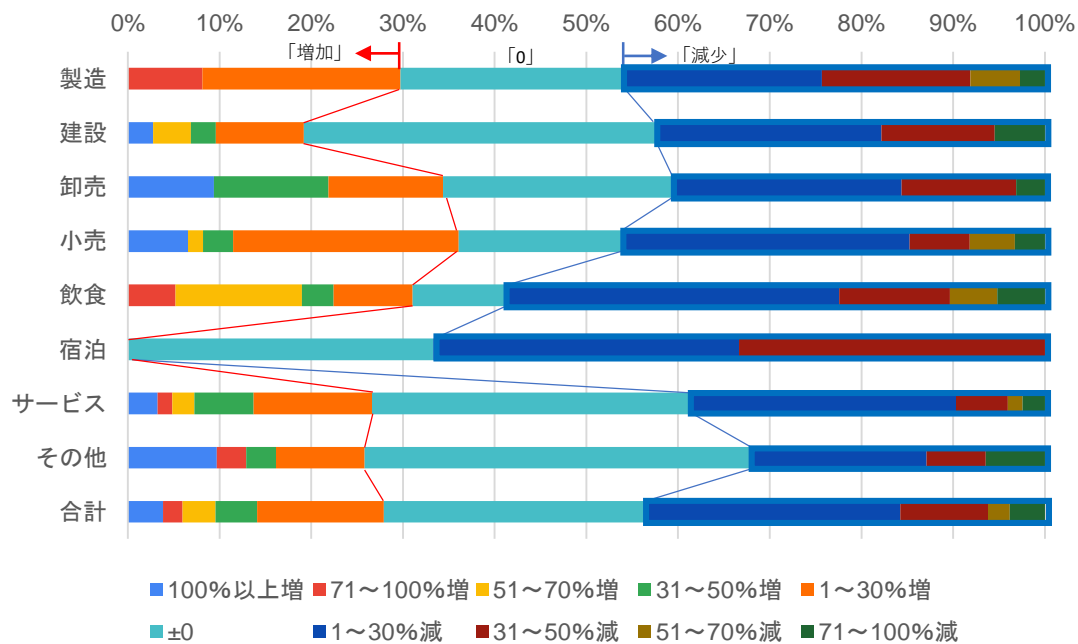
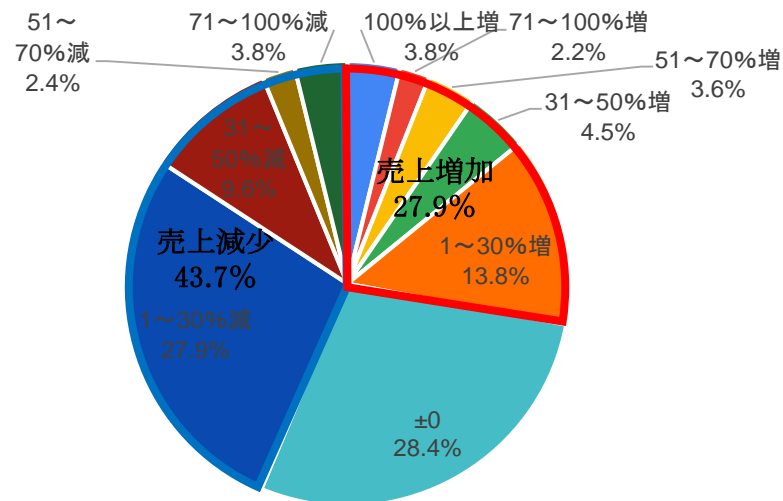


	回答数	割合
100%以上増	30	7.2%
100~71%増	11	2.6%
70~51%増	20	4.8%
50~31%増	37	8.8%
30~1%増	66	15.8%
±0	80	19.1%
1~30%減	115	27.4%
31~50%減	36	8.6%
51~70%減	14	3.3%
71~100%減	10	2.4%
合計	419	100.0%

2. 2022年6月(先月)の1日あたりの平均売上高と比べて、7月(今月)の平均売上高はどの程度でしたか？

2022年6月比では、「減少している」割合が43.7%、「増加している」割合が27.9%となった。

業種別に見ると、全業種で「減少している」割合が「増加している」割合を上回っており、特に宿泊業、飲食業においては減少している割合が高く、新型コロナウイルス感染者数増加による売上悪化が懸念される結果となった。

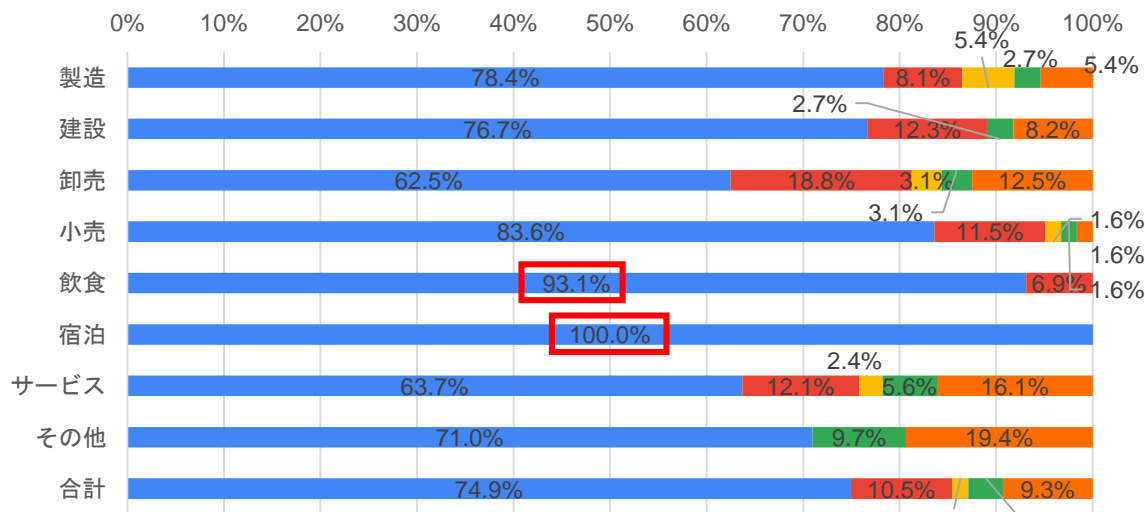
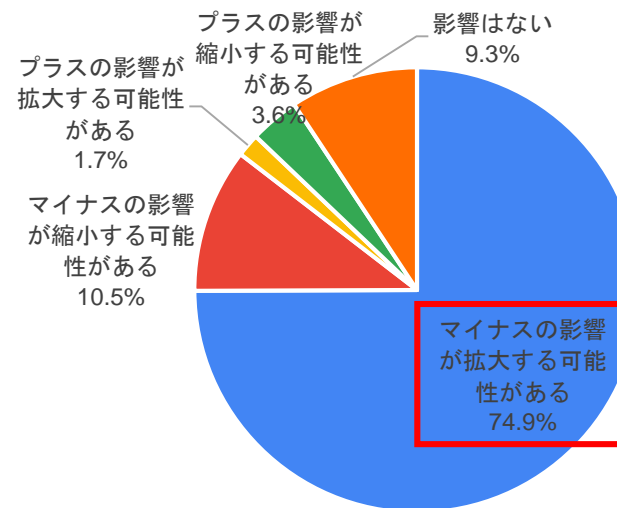


	回答数	割合
100%以上増	16	3.8%
71~100%増	9	2.2%
51~70%増	15	3.6%
31~50%増	19	4.5%
1~30%増	58	13.8%
±0	119	28.4%
1~30%減	117	27.9%
31~50%減	40	9.6%
51~70%減	10	2.4%
71~100%減	16	3.8%
合計	419	100.0%

3. 新型コロナウイルスの感染拡大は、今後企業活動にどのような影響を及ぼすと予想されますか？

全ての業種で「マイナスの影響が拡大する可能性がある」と回答した割合が最も高く、74.9%を占め、「プラスの影響が縮小する可能性がある」とを含めると、78.5%となっていることから、今後もマイナスの影響を受ける企業の増加が懸念される結果となった。

業種別で見ると、「マイナスの影響が拡大する可能性がある」との回答が多かったのが、宿泊業100.0%、飲食業93.6%、次いで小売業、製造業、建設業で、7月上旬からの新型コロナウイルス感染者数増加に加え、円安基調、原油・原材料高、それに伴う物価上昇により、大幅なマイナスを見通す結果となった。



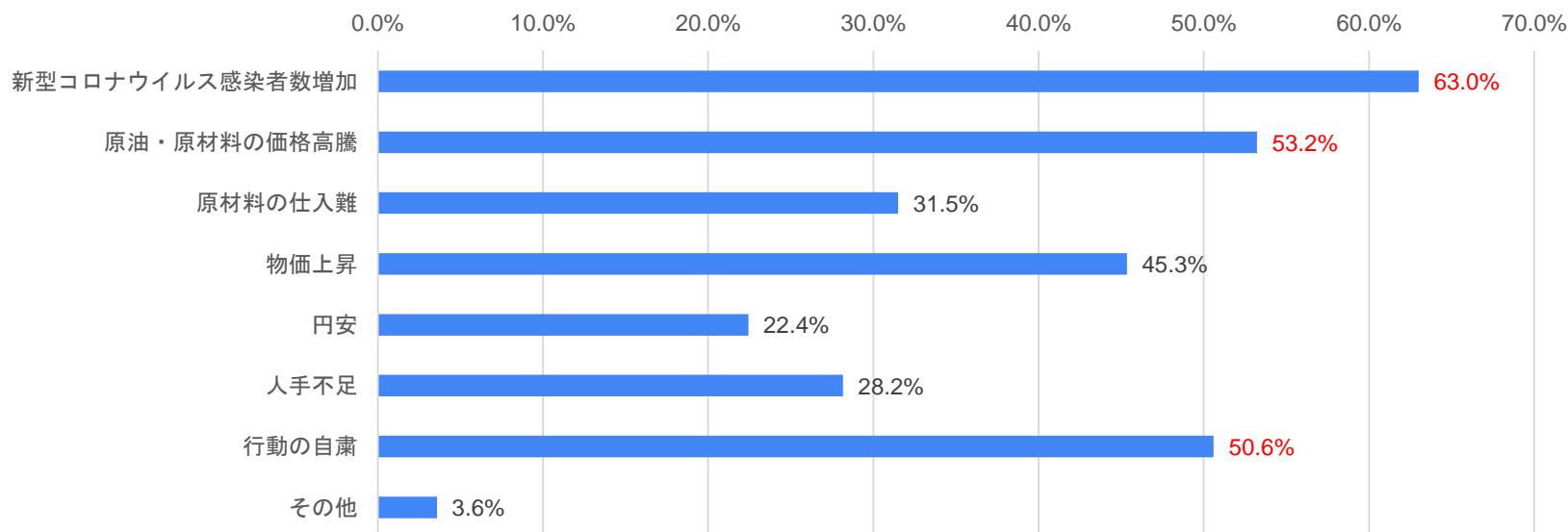
■ マイナスの影響が拡大する可能性がある ■ マイナスの影響が縮小する可能性がある
 ■ プラスの影響が拡大する可能性がある ■ プラスの影響が縮小する可能性がある
 ■ 影響はない

	回答数	割合
マイナスの影響が拡大する可能性がある	314	74.9%
マイナスの影響が縮小する可能性がある	44	10.5%
プラスの影響が拡大する可能性がある	7	1.7%
プラスの影響が縮小する可能性がある	15	3.6%
影響はない	39	9.3%
合計	419	100.0%

4. 新型コロナウイルス感染拡大の長期化において、追い打ちとなっているものは何ですか？

追い打ちとなっている要因で最も多かったのは、「新型コロナウイルス感染者数増加」で63.0%、次いで、「原油・原材料の価格高騰」が53.2%、「行動の自粛」が50.6%となった。

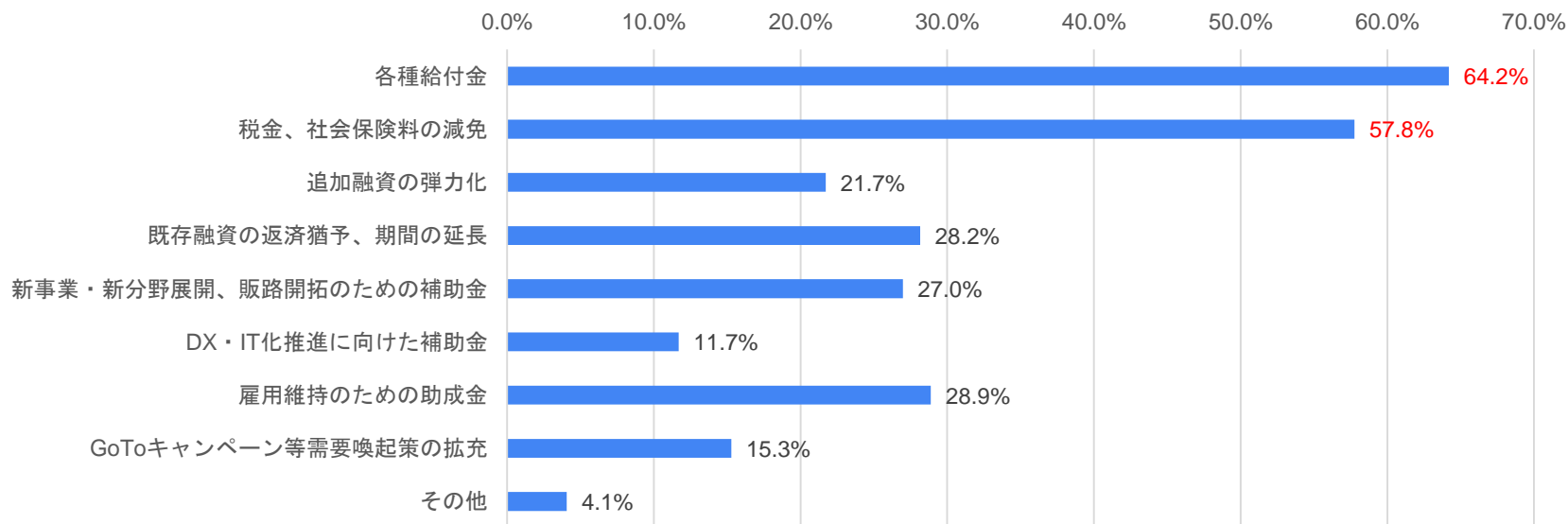
	新型コロナウイルス感染者数増加	原油・原材料の価格高騰	原材料の仕入難	物価上昇	円安	人手不足	行動の自粛	その他
事業者数	264	223	132	190	94	118	212	15
割合	63.0%	53.2%	31.5%	45.3%	22.4%	28.2%	50.6%	3.6%



5. 感染拡大の長期化に伴い、必要と思われる支援施策は何ですか？

必要な支援施策では、「各種給付金」で64.2%、次いで、「税金、社会保険料の減免」が57.8%と、この2つが突出する結果となった。

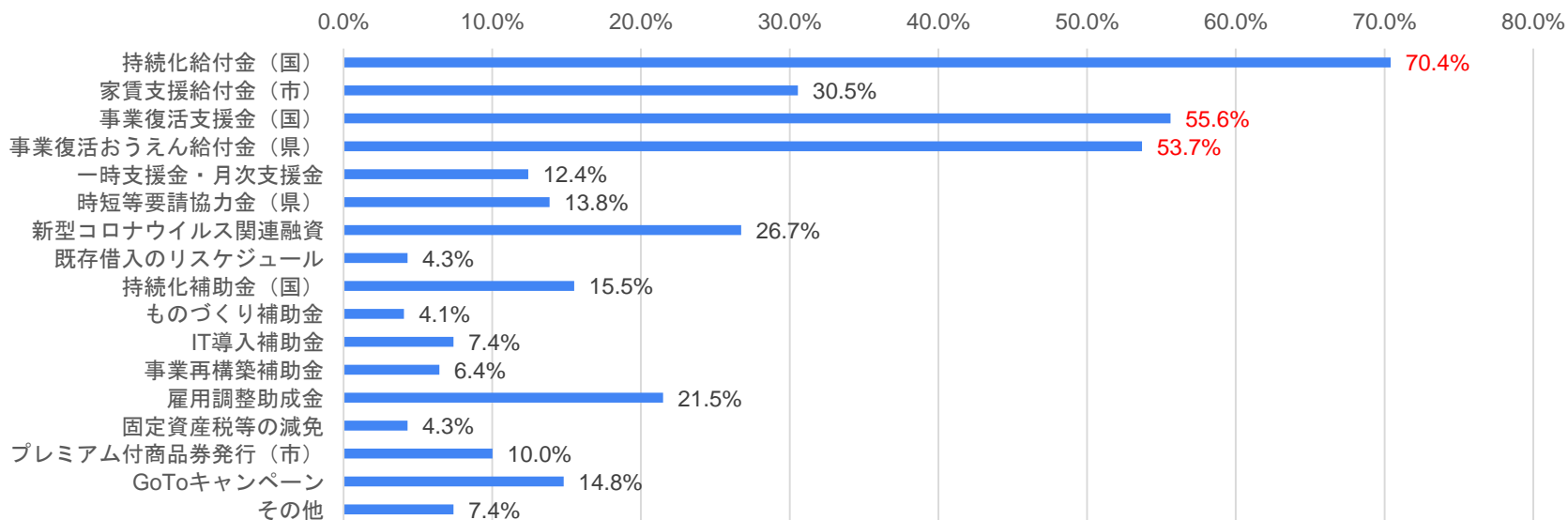
	各種給付金	税金、社会保険料の減免	追加融資の弾力化	既存融資の返済猶予、期間の延長	新事業・新分野展開、販路開拓のための補助金	DX・IT化推進に向けた補助金	雇用維持のための助成金	GoToキャンペーン等需要喚起策の拡充	その他
事業者数	269	242	91	118	113	49	121	64	17
割合	64.2%	57.8%	21.7%	28.2%	27.0%	11.7%	28.9%	15.3%	4.1%



6. 行政等からの各種支援策で利用した支援施策は何ですか？

利用した支援施策で最も多かったのは、「持続化給付金(国)」で70.4%、次いで、「事業復活支援金(国)」が55.6%、「事業復活おうえん給付金(県)」が53.7%となった。

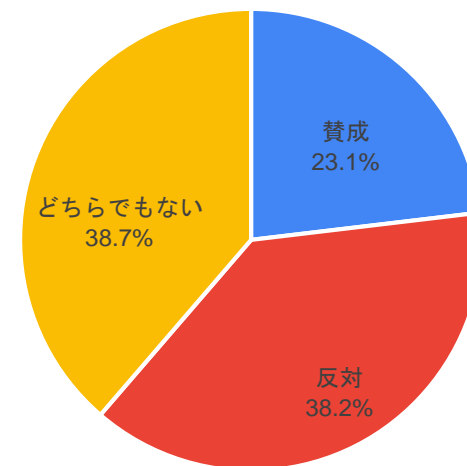
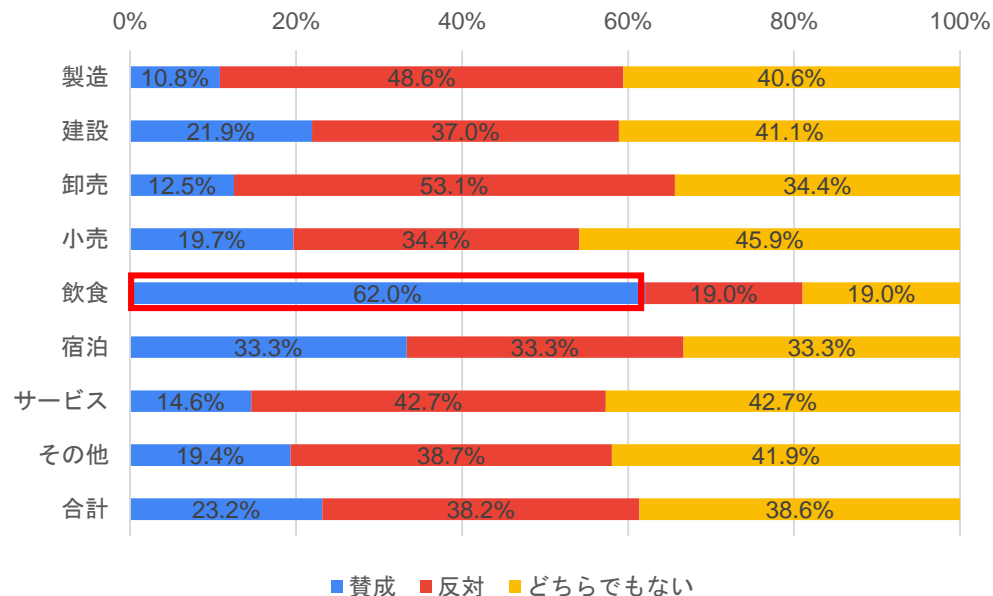
	持続化給付金(国)	家賃支援給付金(市)	事業復活支援金(国)	事業復活おうえん給付金(県)	一時支援金・月次支援金	時短等要請協力金(県)	新型コロナウイルス関連融資	既存借入のリスケジュール	持続化補助金(国)	ものづくり補助金	IT導入補助金	事業再構築補助金	雇用調整助成金	固定資産税等の減免	プレミアム付商品券発行(市)	GoToキャンペーン	その他
事業者数	295	128	233	225	52	58	112	18	65	17	31	27	90	18	42	62	31
割合	70.4%	30.5%	55.6%	53.7%	12.4%	13.8%	26.7%	4.3%	15.5%	4.1%	7.4%	6.4%	21.5%	4.3%	10.0%	14.8%	7.4%



7. 今回の新型コロナウイルス拡大で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を望みますか？

「反対」が38.2%、「賛成」が23.1%となった。

業種別では、「賛成」が「反対」を上回ったのは新型コロナウイルス感染者数増加により影響を受けやすい飲食業のみとなり、その他の業種では「反対」が「賛成」を上回る結果となった。

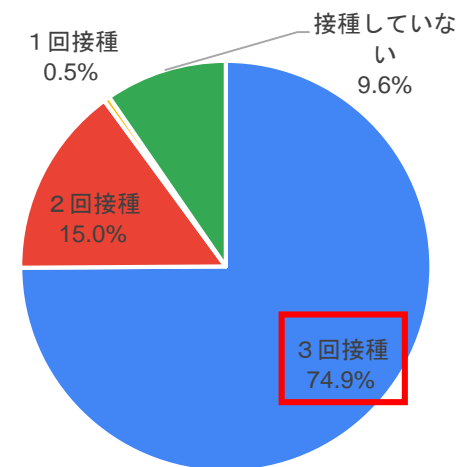


	回答数	割合
賛成	97	23.1%
反対	160	38.2%
どちらでもない	162	38.7%
合計	419	100.0%

8. あなたは「新型コロナワクチン」を接種しましたか？

最も多かったのは、「3回接種」で、74.9%となった。次いで、「2回接種」が15.0%、「接種していない」が9.6%、「1回接種」が0.5%となった。

	回答数	割合
3回接種	314	74.9%
2回接種	63	15.0%
1回接種	2	0.5%
接種していない	40	9.6%
合計	419	100.0%



9. 「新型コロナワクチン」の4回目を接種しますか？（3回目接種した方のみ回答）

※3回目接種した方のみが対象

「接種済み」が12.7%、「今後接種予定」が、45.9%、「検討中」が27.7%、「接種しない(接種対象ではない)」が13.7%となった。

	回答数	割合
接種済み	40	12.7%
接種予定	144	45.9%
検討中	87	27.7%
接種しない (接種対象ではない)	43	13.7%
合計	314	100.0%

